

視点

介護予防事業ロジックモデル

<ul style="list-style-type: none"> <li>高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画で設定した地域支援事業費の範囲内である</li> <li>事業の効率性が保たれている</li> <li>事業を実施するための人材が確保できている(高齢者の活躍の機会創出の視点ももっている)</li> </ul>	インプット	予算 人員
<ul style="list-style-type: none"> <li>選択肢</li> <li>選択肢の拡充</li> <li>選択肢の支援(ポピュレーション・ハイリスク)</li> <li>阻害要因の排除</li> <li>活動の支援</li> </ul>	アプローチ	<ul style="list-style-type: none"> <li>選択の支援(ハイリスク)</li> <li>選択の支援(ポピュレーション)</li> <li>活動の支援</li> <li>選択肢の拡充</li> <li>自立を阻害する要因の排除</li> <li>選択肢(ハイリスク)</li> <li>選択肢(ポピュレーション)</li> </ul>
各事業名	事業名	事業毎に構成
<ul style="list-style-type: none"> <li>【年齢層】高齢者人口:65~74歳、75~84歳、85歳~</li> <li>【健康への関心】関心層、中間層(年齢的に気になり出した、きっかけがない)、無関心層</li> <li>【健康状態(フレイル)】フレイル、プレフレイル、ノンフレイル</li> <li>【健康状態(生活習慣病)】元氣、健康リスク者、要医療者、健康状態不明者</li> </ul>	対象	<ul style="list-style-type: none"> <li>要介護状態になることを防ぐ</li> <li>要介護状態になっても重症化を防ぐ</li> <li>自立支援</li> <li>早めの気づきと適切な支援により元の暮らしに戻る</li> <li>フレイルの可逆性</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>地域の実情を踏まえた事業の実施</li> <li>アウトカムを踏まえた事業の実施</li> </ul>	アクティビティ	<p>高齢者が地域で自立した生活を続けることができるよう介護予防事業を実施する</p> <p>フレイル状態に早期に気づき、適切なサービスや活動を選択することで元の暮らしに戻るための支援を行う</p>
<ul style="list-style-type: none"> <li>事業を適切に実施するための体制、仕組みを構築している</li> </ul>	ストラクチャー(ツール)	事業毎に構成
	ストラクチャー(会議)	
<ul style="list-style-type: none"> <li>個人・地域に向けて適切な働きかけをしている</li> <li>必要な情報を取得することができる</li> <li>地域の実情を把握している</li> <li>事業を実施するための活動を行っている</li> <li>関係員、関係機関と連携している</li> </ul>	プロセス①	<ul style="list-style-type: none"> <li>関係者が介護予防事業を理解する</li> <li>地域資源(サービス・活動)及び地域課題を把握し地域分析を行う</li> </ul>
	プロセス②	<ul style="list-style-type: none"> <li>本人・家族が介護予防を理解する(介護予防・フレイル予防の啓発)</li> <li>各事業につながるよう周知を行う</li> <li>地域住民、企業、関係機関等とのネットワークを構築する</li> </ul>
	プロセス③	<ul style="list-style-type: none"> <li>重症化する前に関わりを持つ(早期介入)</li> </ul>
事業の実施回数/事業への参加人数など	アウトプット	<ul style="list-style-type: none"> <li>選択の支援(ポピュレーション)</li> <li>選択の支援(ハイリスク)</li> <li>選択肢の拡充</li> <li>自立を阻害する要因の排除</li> <li>活動の支援</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>【個人】地域の活動に参加できている/フレイルを理解し介護予防活動を行っている【地域】地域に多様なサービス・活動がある/活動に参加する機会がある/活躍する機会がある</li> </ul>	初期アウトカム①	<ul style="list-style-type: none"> <li>フレイル・総合事業を理解する</li> <li>多様な選択肢を知る</li> <li>介護予防の場、機会が増える</li> <li>活躍の機会が増える</li> <li>生活機能の維持につながる生活支援の活動が増える</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>【個人】自分で選択できている/適切なサービス・活動が利用できる/必要に応じてサービス・活動を選択しながらやりたいことを実現している(重症化防止)/相談先を知っている【地域】高齢者が役割を持って活躍することができる/行きたい時に行ける場所がある/つながり続けたい場所がある/馴染み場所に行き続けることができる</li> </ul>	初期アウトカム②	<ul style="list-style-type: none"> <li>セルフマネジメントできるようになる</li> <li>社会活動に参加している高齢者が増える</li> <li>多様なサービスを活用している高齢者が増える</li> <li>セルフケアできている高齢者が増える</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>【個人】生きがいを持続している/フレイルのリスクが低下している(介護予防)/困りごとを相談することができる【地域】人とのつながりがある/居場所がある</li> </ul>	中間アウトカム	<ul style="list-style-type: none"> <li>生きがいを持っている</li> <li>フレイルリスクの低下</li> <li>困りごとを相談できる</li> <li>住民同士の信頼感が向上する</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>基本目標:健康寿命延伸</li> <li>→要介護者の抑制+QOL向上、ウェルビーイングの向上</li> <li>～絆感～</li> <li>高齢者が地域でいつまでも幸福感をもって暮らしている【個人】①自分で選択して生活している、それぞれが大切にしていることを続けられる、得意なこと活かして活躍し、役割をもって生活している=充実感を持っている②安心して暮らしている=孤独や不安を感じていない【地域】支え合いのある地域①人とのつながりを持つことのできる地域=自分の居場所がある、見守りがある地域②高齢者が活躍できる地域=役割が期待されている地域③高齢者が生きがいを持っている地域=選択肢が多い地域</li> </ul>	最終アウトカム	<ul style="list-style-type: none"> <li>充実感を持って暮らしている</li> <li>自立した生活を続けている</li> <li>孤独や不安を感じていない</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>【行政運営】歳出適正化/介護資源の確保【個人】孤独死の減少【地域づくり】地域共生社会の実現と地域包括ケアシステムの構築</li> </ul>	インパクト	<ul style="list-style-type: none"> <li>医療費抑制</li> <li>介護費抑制</li> <li>孤立死・孤独死の減少</li> <li>介護資源保全</li> <li>在宅期間の延伸</li> </ul>

